

おすすめウォーキングルート入り



岡山市妹尾中学校区  
(妹尾・箕島学区)

## 歴史と文化のまち 妹尾・箕島



### 作成者一同の思い

「ええとこ発見図」とは、自分たちの住んでいる地域のええとこ(いいところ)を盛り込んだウォーキングマップです。地域を何度も歩き、話し合いを重ねる中で、普段見過ごしていた大切な地域資源を再確認しました。いろいろな人と知り合い、お互いを認め合うことで、地域に住む人の「ええとこ(いいところ)」も再発見しました。この「ええとこ発見図」が、健康づくりに活用され、地域への愛着や人と人との絆をますます深めるきっかけになることを願っています。

平成28年3月  
健康市民おかやま21(第2次)

### 妹尾地区

#### ① 啓運山盛隆寺

けいうんざんじょうりゅうじ  
妹尾の人々からは「大寺」と親しまれている。盛隆寺・浄園院・善立院・智応院・安祥院と、山門から少し西に離れた観行院の6つの寺院からなる。



#### ② 御前神社

おんさきじんじや  
吉備津七十二末社の一社。妹尾西磯の氏神で「西の宮」とも呼ばれている。伝説の主人公となった彦五十狹芹彦命と、その妻百々由弓矢姫が主祭神。摂社は大綿津見神(八大竜王)で2本殿1棟2拝殿の構成。境内には随神門、池泉に浮かぶ亀島、二対の奉献石灯籠、一対の石造唐獅子、エビス大黒天祠、天満宮などが配置され、石灯籠(出漁波止場にあった常夜灯)もある。拝殿の大絵馬「児島漁漁撈回槽図」は県重要民俗文化財。



#### ③ 栗村神社・グリーンガーデン春辺

くりむらじんじや  
栗村神社は吉備津宮七十二末社の一社。妹尾東磯の氏神で「和の宮」と呼ばれている。祭神は吉備津彦の宿将・和田叔奈麿。参道奥の山門をくぐり、長い玉垣参道を進むと土塀に囲まれた本殿・拝殿・社務所が鎮座している。石鳥居や一対唐獅子(石造)石灯籠(駅東の出漁波止場にあった常夜灯)もある。本殿は岡山市有形文化財。グリーンガーデン春辺は栗村神社に隣接する公園。



#### ④ つちえの井戸

つちえのいど  
栗村神社の南に位置し、妹尾で最も大きな井戸。当時多くの人が水を汲みに来ており、水売りにも使われていた。大正11年に「沖野鉄造」によって改修工事が行われたことが、井戸を囲む石塀に刻まれている。岡山市有形民俗文化財。



#### ⑤ 芳塘園

ほうとうえん  
江戸時代末期に興除用水の堤として造られ、昭和5年3月「かんばしいつつみの楽園」となることを願い桜を植え芳塘園と命名された。桜は太平洋戦争のため姿を消したが、昭和53年に妹尾緑道公園として整備し、桜を植栽した。



#### ⑥ 陣屋の井戸

じんやのいど  
岡山南商工会妹尾支所の東に位置し、平成7年重要有形民俗文化財に指定。妹尾の領主だった戸川氏の陣屋があった場所に作られた井戸。明治時代になって陣屋が廃止された後も飲料水の不足に悩む土地の人々が利用してきた。当時の面影を残す建屋がある。



### 箕島地区

#### ① 如意山呑海寺

によういさんどんかいじ  
日蓮宗京都石塔寺の末寺であり、貞和3年4月(1347)に創建されたもので、この寺は昔、箕島山と号し有名な禅寺であったが、慶長13年(1608)備中高松の領主花房助兵衛職之が悉く日蓮宗に改宗させたことがあり、その時から日仁を開山に山号を如意山と改めたといふ。現在、毎年8月16日に境内本堂前で、開山霊岳法穆禪師の徳をしのいで「開山踊り」が催されている。



#### ② 丸島 開成高等小学校跡

まるしま かいせいこうとうしょうがっこうあと  
明治27年4月、都宇郡各村(豊洲・茶屋・早島・箕島・妹尾・大福・山田の7ヶ村)による組合立「開成高等小学校」が開校した。明治31年箕島村大字丸島龍王山に校舎を新築移転し、大正9年3月に組合解散と同時に閉校した。開校以来、地域社会に貢献する優秀な人材を多く輩出した。



#### ③ 海母山正福寺

かいぼざんしょうふくじ  
正福寺は、箕島字浜にある。この寺は海母院日玄によって開かれ、その当時は真言宗であった。しかし天正19年(1591)領主花房助兵衛職之が領民をことごとく日蓮宗に改宗させたので、五世勝寿院日然の時に、日蓮宗の寺となったのである。



#### ④ 大井戸(樋之口)

おおいど ひのくち  
樋之口の公会堂近くにあり、村中を通る道に面している。上ノ山神社の北麓にあり、良質の水が湧き、この地区近隣の共同井戸であった。明治時代には演習に向かう兵隊が水を飲んでいと語りつがれている。現在は使用していないが、車つるべに使用した石の柱には葛が巻きついて、何か昔を偲んでいる感がある。



#### ⑤ 上池・下池(鯉のぼりフェア)

かみいけ しもいけ こい  
毎年4月29日に行われる鯉のぼりフェアでは、周囲約400mの下池堤におよそ50尾の鯉のぼりが勢いよく泳ぎ、近隣各地の人々の心をなごませている。また、堤の南の「箕島ふれあいの里」は、ホテルや淡水魚の生息を目指している住民の憩いの場となっている。



### 高尾地区

#### ① 木屋の墓所

きやぼしよ  
吉田氏は古新田などを開発した大庄屋で、屋号を木屋といった。初代の四郎右衛門が妹尾から引舟に移住し居を構え、古新田の開発に取り組み、以来子孫も開発事業に力を入れ、庄屋などをつとめ、多くの農作業従事者を雇い、米作に力を注いだ。引舟が低湿地であるため墓所を山麓に求めた。代々法華經の信者であったので墓石にも日蓮宗の法号が記されている。



#### ② 烏帽子岩跡

えぼしいわあと  
烏帽子岩の標高は30m余り、基盤の面積が10アール近い花崗岩を台にして今にも滑り落ちそうに乗りかかった形をしていた。岩の烏帽子は、長さ17~8m、幅およそ6m、高さ約6mにも及ぶ巨岩であったが、戦後落とされたため今は無い。山頂にお不動様が祀られている。豊臣秀吉が大坂城を築城する際は台石の一部をはいで大阪まで船で持ち帰ったと言われている。



#### ③ 高尾巖島神社

たこ おいつくしまじんじや  
山田のうち高尾及び大倉の氏神。祭神は市杵島比売命(巖島大明神)。寿永年間に妹尾太郎兼康が領内鎮守としてその屋敷に社殿を造営し、安芸の巖島神社を分祀したと伝えられている。建物は二棟あり、向かって右側は日蓮宗徒、左側は真言宗徒が祀る。



#### ④ 伝妹尾太郎兼康館跡

でんせいの お たらうかねやすがたあと  
妹尾太郎兼康は平氏の厚い信任を得ていた。板倉に山城を築き、妹尾に平城の洲浜城をかまえ、高尾には別宅があったと言われる。備中誌は十二ヶ郷用水路が兼康によって開かれたと伝えているが、このことも彼が妹尾郷地方の開発領主であったことを推測させる材料である。

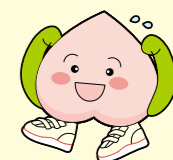


### 作成団体

- ・丈夫で長生きせのおみしま
- ・妹尾公民館井戸マッププロジェクト
- ・妹尾・箕島を語る会

### 写真提供者

- ・伊丹 弘史



# 箕島地区コース

## 2kmコース

箕島小学校→箕島保育園→佐間田池→下池→箕島小学校

## 4kmコース

箕島小学校→箕島保育園→佐間田池→下池→上池→少年鑑別所・少年院→山田グリーンパーク→上池→下池→箕島小学校

## 6.5kmコース

箕島コミュニティハウス→大正池→上池・下池→佐間田池→鴨ノ才池→呑海寺→丸島→正福寺→亀島(上ノ山神社)→箕島コミュニティハウス

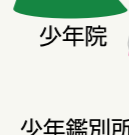
箕島 2kmコース  
4kmコース  
6.5kmコース

# 高尾地区コース

## 7kmコース

妹尾公民館→和田の新井戸→つちえの井戸→栗村神社→和田交差点→(高尾山すそ)→(2号線バイパス下)→木屋の墓所→高尾の番神様→高尾十五人塚→烏帽子岩→高尾巖島神社→伝妹尾太郎兼康館跡→高尾貝塚→汗入隧道→妹尾公民館

〈消費カロリーの計算式〉  
歩行距離 (km) × 体重 (kg) × 1/2



⑤上池・下池 (鯉のぼりフェスティバル)



③正福寺 WC

④大井戸

備中箕島駅 小山

# 妹尾地区コース

## 3kmコース

妹尾公民館→芳塘園→西之町→御前神社→つちえの井戸→盛隆寺→矢吹学舎→妹尾保育園→住田遺跡→妹尾公民館

## 5kmコース

妹尾公民館→汗入隧道→跡不見観音→観音池→和田交差点→栗村神社→グリーンガーデン春辺→貯水タンク→大村越→妹尾小東→大正井戸→盛隆寺→陣屋の井戸→矢吹学舎→妹尾保育園→住田遺跡→妹尾公民館

## 7kmコース

妹尾公民館→芳塘園→西之町→南之町踏切→宝塔→妹尾駅筋→四つ樋→樋門→宝塔→陣屋の井戸→妙見様→洲浜城址→グリーンガーデン春辺→栗村神社→つちえの井戸→和田交差点→観音池→跡不見観音→汗入隧道→住田遺跡→妹尾公民館



(県道) 倉敷妹尾線

妹尾 3kmコース  
5kmコース  
7kmコース  
高尾 7kmコース

